

経営目標設定シート（令和6年度）

団体名：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団	所管局：生活文化スポーツ局
------------------------	---------------

経営目標設定にあたっての背景・課題

・財団では、平成29年度から令和4年度までの間、経常比率（経常収益÷経常費用）が100%未満であり、正味財産の減少が継続してきた。 ・このような中においても、着実な事業の実施に向けた固有職員の採用数増や、固有職員の昇任など、人材育成等を積極的に取り組む必要がある。 ・さらに、利用者の利便性向上を図るためDXを推進し、スポーツ情報発信Webサイトの満足度を向上させていく必要がある。
--

経営目標の設定

No.	視 点	指 標	目 標 値	単 位	過年度実績			指標及び目標値の設定理由	目標達成に向けた具体的な取組
					令和5年度	令和4年度	令和3年度		
1	財務	経常比率	100	%	102.9	99.7	98.2	・財務状況について、昨年度実績は経常比率100%を上回ったものの、過去6年間にわたり100%を下回っていたことを鑑みて、指標を設定 ・目標値は公益財団法人として収支償還であるべきことから、達成に向けて取組を進め、実現を図る。	・各会計において収入の確保と支出の適正化を図り、財団の会計全体で収支が均衡するよう努める。
2	人材マネジメント	固有職員の構成比率	26	%	25.4	21.7	21.5	・着実な事業実施のため、固有職員採用選考の有資格者（契約職員）の中から固有職員への採用を段階的に行い、即戦力として最大限活用していく必要があることから、指標を時限的なデフリンピック本部を除き設定 ・自律的な組織として長期的・戦略的な事業展開を行うため、業務の知識・経験に裏打ちされた固有職員が組織の中核となるよう、構成比率を上げていく必要がある。	・固有職員の採用に向け、組織を支える人材として、より一層主体性を高める素養の醸成や採用選考受験の意欲向上を図る研修を契約職員に実施 ・先輩職員との座談会や成功体験の紹介を行うことにより、受験や業務に対するモチベーションを向上 ・職員個人に対し、所属長を始め組織として受験を勧奨・促進
3	人材マネジメント	固有職員の昇任試験合格者数	4	人	4	3	2	・組織のポテンシャル、執行体制の強化及びエンゲージメントの向上等を図るため、各界選考の有資格者の中から計画的に上位職級昇任者を輩出する必要があるから、指標を設定（主任3人、管理監督職1人） ・今後、担当業務や組織内マネジメントにより一層中核を担う管理監督職への昇任を実施し、個々の職員の能力向上と、組織力の向上を図るため、計画的に職員を育成していく必要がある。	・組織の中核を担う人材を育成するため、より一層の組織支援力・実践力向上を図る研修を実施するとともに、昇任試験受験を奨励 ・昇任に向けた知識や学習教材の共有・提供による、受験意欲の喚起・自己研鑽の支援 ・職員個人に対し、所属長を始め組織として受験を勧奨・促進
4	人材マネジメント	コンプライアンス研修受講後の理解度	100	%	92	—	—	・令和5年度に駒沢オリンピック公園総合運動場で発生した事故を踏まえ、再発防止を図るために、職員のコンプライアンスに対する意識や理解度を高める。	・各施設や事務局において、12月をコンプライアンス月間と設定し、職員への更なる意識啓発を図る。 ・その際、外部の専門家による研修を実施し、コンプライアンスに対する理解度向上を図る。 ・受講後にチェックテストを行い、研修内容の理解度を確認する。
5	DX	スポーツ情報発信WEBサイト（SPOPITA）の利用者満足度	3. 5	ポイント	—	—	—	・都内スポーツ情報を一元化し提供するサイトとして運営 ・一定のアクセス数（月約7万件）を得ていることから、より一層サイトを活用してもらうため、サイトの充実度・利便性を図る指標として満足度を設定 ・都の窓口ユーザーレビューで実施している満足度評価の目標値「2025年度70%以上」に準じ、5段階評価の平均3.5以上に設定 ・アンケートの回答数は、国勢調査、マーケティングリサーチと同じ手法で計算し、350～400件を目安とする。	・スポーツ施設検索システムの改良や18施設写真フリー素材の提供に係るSPOPITA内での申請を可能にし、利用者の利便性を向上させる。 ・SPOPITAの利用者満足度を調査するため、5段階評価のアンケートを実施するとともに、より多くの回答を集計して検証ができるようSNSによる周知や、イベント等の機会にアンケート調査への協力依頼を行う。

経営目標の設定に関する所管局等の所見

【総論】 （公財）東京都スポーツ文化事業団の経営課題である財政基盤・組織体制の強化、ガバナンスの確保に向けて、上記5つの経営目標を設定しており、経営状況の改善、人材の確保及びガバナンスの強化につなげる取組を行っていくことから、当該課題を解決し、団体経営を継続的に改善していくものであると判断する。 【個別目標】 ・目標1について、収支償還原則の観点から、引き続き上記目標の達成に向けて、事業収益の確保に努め、財政基盤の安定化を図られたい。 ・目標2及び目標3について、団体の組織基盤力を強化するためには、固有職員の管理監督職の輩出を見据え、その基盤となる固有職員や主任試験合格者数を安定的に確保する必要があり、上記の目標に向けて中長期的な視点で組織の中核を担う人材を計画的に育成されたい。 ・目標4について、令和3年度から令和5年度にかけて駒沢オリンピック公園総合運動場で発生した事故を踏まえ、検証報告書で掲げている再発防止策の一つであるコンプライアンス研修を全職員に実施し、職員のコンプライアンスに対する理解を深めていくべきであり、上記の目標を確実に達成されたい。その他、検証報告書に記載している業務フローの見直しや業務手順の明確化についても確実に実施し、再発防止に努められたい。 ・目標5について、中核的事業である「スポーツ東京案内事業（SPOPITA）」は、スポーツ実施率の向上のため、都内の施設やイベント情報など広く都民にスポーツ情報を届けることを目的としており、上記目標の達成に向けて利用者の満足度を向上させる必要がある。DXを活用した利便性向上を図ることで上記目標を達成されたい。
